

JSPD スポーツ★ニュース



女子走り幅跳びで
跳躍する秦選手



男子110メートル障害決勝で
力走する村竹選手(右)



男子走り幅跳びで優勝した
橋岡選手の跳躍



女子1500メートル
決勝で大会新記録で
優勝し、パリ五輪代表
に決まった田中選手



女子100メートル
障害決勝でゴールする
福部選手(右端)



男子400メートル
障害決勝で力走する
豊田選手

豊田、村竹選手V、パリ五輪へ 田中選手2種目で、福部、秦選手も代表入り 陸上

陸上の日本選手権は、パリ五輪代表選考会を兼ねて、6月27日から30日の4日間、新潟市で行われた。男子400メートル障害で豊田兼選手が日本歴代3位の47秒99をマークして初優勝し、初の五輪代表に決まった。父の母国、フランスでの大会に臨む。「冬季練習をしっかりと積めたのが、今の結果につながっている」と手応えを口にする。

男子110メートル障害では村竹ラシッド選手が初優勝し、初の五輪代表を射止めた。3年前の東京五輪代表入りを懸けた日本選手権は、不正スタートで失格。「やっとスタートラインに立った」と喜びをかみしめた。男子走り幅跳びで橋岡優輝選手が2年ぶり6度目の優勝を果たし、2大会連続の五輪代表に決まった。

女子1500メートルは、田中希実選手が大会新記録の4分1秒44で5連覇。5000メートルに続いて2種目目の代表入り。女子100メートル障害は福部真子選手が、同走り幅跳びは秦澄美鈴選手がそれぞれ制し、ともに初の五輪切符を得た。



全米女子オープンゴルフ
優勝した笹生選手(AFP時事)



全米女子プロゴルフ最終ラウンド、
ショットを放つ山下選手

笹生、山下選手がパリ五輪代表 海外メジャー大会で実力示す 女子ゴルフ

女子ゴルフのパリ五輪代表に笹生優花選手と山下美夢有選手の2人が決まった。6月24日付発表の世界ランキングで日本勢1、2番手となり、パリ五輪の出場権を獲得した。

笹生選手は6月2日(現地時間)に米国ペンシルベニア州で最終ラウンドがあった今季メジャー第2戦、全米女子オープン選手権で3年ぶり2度目の優勝を果たした。メジャー2勝は男女を通じて日本勢初の快挙となった。

山下選手は6月23日(現地時間)に終了した今季メジャー第3戦、全米女子プロ選手権(ワシントン州)で通算4アンダーとし2位タイに入った。先の全米女子オープン選手権の12位を上回るメジャー自己最高成績。

山下選手は、既に出場権獲得を確実にしていた笹生選手に次いで日本代表に。日本勢2人目の争いは全米女子プロ選手権直前の世界ランク20位の古江彩佳選手、21位の畑岡奈紗選手、22位の山下選手を中心に最後まで分らない状況が続いていた。

